

石垣島沿岸海域におけるサンゴ礁保全と海域利用に関する意見募集・アンケート

Google フォーム掲載版の設問一覧（回答者に表示された文面）

- ・本アンケートは、有識者会議での議論の土台とするため、石垣島沿岸海域に関わる多様な立場の皆さまの考えを幅広くうかがうものです。賛否を決める投票ではありません。
- ・係留ブイの設置は、サンゴ礁保全と海域利用調整のために考えられる対策の一つです。結論が決まっているわけではなく、「必要ない」「他の対策を優先すべき」「条件が整えば検討できる」といった意見も、等しく重要な回答として扱います。
- ・回答は匿名で集計します。結果は、回答数、立場別の傾向、自由記述の要旨または匿名化した内容を含め、可能な範囲で公開する予定です。
- ・対象海域は、石垣島沿岸海域です。特定の海域・ポイントに関する回答は、漁場や事業活動への影響に配慮し、公開時の扱いを慎重に整理します。
- ・★印のコア設問は、必須項目の設問です。詳細設問は、お時間とご関心に応じて回答してください。
- ・回答は、お一人（1事業者・1団体）につき1回でお願いいたします。
- ・公開にあたっては、回答数の少ない区分はまとめて表示し、個人・事業者が特定されうる回答は個別に表示しません。自由記述も十分に匿名化したうえで扱います。
- ・回答期限：令和8年9月18日（金）
- ・実施主体：石垣係留ブイ協議会（IMBC） 構成団体：一般社団法人マリンレジャー振興協会／一般社団法人石垣市観光交流協会
- ・お問い合わせ：石垣係留ブイ協議会（IMBC）事務局／一般社団法人マリンレジャー振興協会 E-mail：contact@amp.okinawa

セクションA 回答者について

★ Q1. あなたの立場に最も近いものを選んでください。（1つ選択）

複数に該当する場合は、今回の回答における主たる立場を1つお選びください。

- ・ マリンレジャー事業者
- ・ 漁業関係者
- ・ 観光関係者
- ・ 地域住民
- ・ 行政・公的機関
- ・ 研究・教育関係者
- ・ 観光客・利用者
- ・ その他（自由記入）

★ Q2. あなたと石垣島沿岸海域との関わりについて教えてください。

（1）利用・関与の頻度 【必須】

- ・ ほぼ毎日
- ・ 週に数回
- ・ 月に数回
- ・ 年に数回
- ・ ほとんど利用しない
- ・ 仕事・研究・行政等に関わっている

(2) 主に関わる海域・ポイント（差し支えない範囲で）【任意】

（短文で記入）

(3) お住まい・拠点 【必須】

- ・ 石垣市内
- ・ 八重山圏内（竹富町・与那国町）
- ・ 沖縄県内（八重山圏外）
- ・ 県外
- ・ その他（自由記入）

セクションB 現状認識

★ Q3. 石垣島沿岸海域におけるサンゴ礁保全・海域管理について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（1つ選択）

- ・ 追加的な保全・管理の取り組みが強く必要だと思う
- ・ 一定の取り組みは必要だと思う
- ・ 現行の取り組みで概ね十分だと思う
- ・ 追加的な取り組みの必要性は低いと思う
- ・ 判断できない

★ Q4. 現在の石垣島沿岸海域で、特に課題だと思うものを選んでください。（複数選択可）

※ 「課題は特に感じない」「わからない」を選ぶ場合は、他の選択肢は選ばないでください。

- ・ アンカリングによるサンゴ礁への損傷
- ・ サンゴ白化などの環境変化
- ・ 利用船舶や利用者の集中
- ・ 漁業と観光利用の間での摩擦・対立
- ・ 利用ルール不足・共有不足
- ・ ルール違反や無秩序な利用の横行
- ・ 安全管理上の課題
- ・ 管理費用や人員不足
- ・ 課題は特に感じない
- ・ わからない
- ・ その他（自由記入）

Q5. すでに行われている自主的な取り組み、現場のルール・慣習があれば教えてください。（自由記述）

例：アンカーを打たない申し合わせ、既存ブイや標識の活用、混雑時の譲り合い、利用時間の自主ルールなど

（自由記述）

セクションC 対策の方向性

★ Q6. 今後2～3年で、サンゴ礁保全と海域利用調整のための具体的な取り組みを進めることについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。（1つ選択）

- ・ 早急に進めるべきだと思う
- ・ 条件や手順を整理しながら進めるべきだと思う
- ・ まずは調査・情報共有を優先すべきだと思う
- ・ 現時点では新たな取り組みを進める必要は低いと思う
- ・ 判断できない

★ Q7. 有効だと思う対策を選んでください。(最大5つまで選択)

※「特に有効だと思う対策はない」「わからない」を選ぶ場合は、他の選択肢は選ばないでください。

- ・ 海域のゾーニングの明確化（利用可能区域・生活区域・保全優先区域など）
- ・ 利用ルールの明文化・共有
- ・ アンカリング禁止・制限区域の設定
- ・ 係留ブイの設置・既存ブイの適正管理
- ・ 環境に配慮した観光利用インフラの整備（トイレ・シャワー施設等）
- ・ 観光利用区域の美化・清掃活動
- ・ 事業者登録・認定制度
- ・ ガイド認定制度
- ・ パトロール・監視体制の強化
- ・ 協力金・利用料による保全財源の確保
- ・ 利用者への啓発活動
- ・ リーフチェック・モニタリング
- ・ 環境教育の充実
- ・ 特に有効だと思う対策はない
- ・ わからない
- ・ その他（自由記入）

★ Q8. 保全策や利用ルールづくりについて、不安・懸念がある場合は選んでください。(複数選択可)

※「特に不安・懸念はない」「わからない」を選ぶ場合は、他の選択肢は選ばないでください。

- ・ 特定の団体・事業者により利または不利にならないか不安がある
- ・ 漁業への影響が不安である
- ・ 観光・マリンレジャー事業への影響が不安である
- ・ 管理主体や責任の所在が不明確になることが不安である
- ・ 費用負担や協力金の使途が不透明になることが不安である
- ・ 許認可や法令上の整理が不十分なまま進むことが不安である
- ・ 海域やポイントが過度に公開・集中することが不安である
- ・ 協議会の人選・情報公開・進め方に不安がある
- ・ 特に不安・懸念はない
- ・ わからない
- ・ その他（自由記入）

★ Q9. どのような条件が満たされれば、保全策や利用ルールづくりに賛成・協力しやすくなりますか。(自由記述)

（自由記述）

セクションD 係留ブイについて（関心のある方）

Q10. 係留ブイについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つ選択)

- ・ サンゴ礁保全のために必要だと思う
- ・ 条件が整えば必要だと思う
- ・ 他の対策を優先すべきだと思う
- ・ 必要ではないと思う
- ・ 判断できない

Q11. 係留ブイを導入・活用する場合、特に重要だと思う条件を選んでください。(複数選択可)

Q10で「必要」「条件が整えば必要」と答えた方を主な対象とします。

- ・ 漁業関係者との合意形成
- ・ マリンレジャー事業者との合意形成
- ・ 行政・環境省等との許認可整理
- ・ 設置海域の科学的調査
- ・ 既存の利用実態・自主ルールの確認
- ・ 維持管理費の明確化
- ・ 管理主体と責任範囲の明確化
- ・ 協力金・利用料の透明な運用（徴収する場合）
- ・ 協力金・利用料を徴収せずに設置・維持管理する方法の検討
- ・ 利用ルール違反への対応
- ・ 試験設置と効果検証
- ・ 定期的な見直し
- ・ その他（自由記入）

Q12. 係留ブイ以外に、より優先すべき、または併せて実施すべき対策があれば教えてください。（自由記述）

（自由記述）

Q13. サンゴ礁保全やアンカリング対策が必要だと思う海域があれば、差し支えない範囲で教えてください。（自由記述）

海域名・ポイント名、必要だと思う理由、懸念点、調整が必要な関係者など。公開時は取り扱いに配慮します。

（自由記述）

セクションE 保全財源・協力金について

★ Q14. サンゴ礁保全と海域管理のための財源確保について、あなたの考えに近いものを選んでください。（1つ選択）

- ・ 行政予算を中心に確保すべき
- ・ 観光客・利用者からの協力金も検討すべき
- ・ 事業者からの負担・協力金も検討すべき
- ・ 行政予算・利用者協力金・事業者負担を組み合わせるべき
- ・ 新たな負担を設けるべきではない
- ・ 判断できない
- ・ その他（自由記入）

Q15. 協力金を導入する場合、利用者1人あたり（1回または1日）いくらまでなら妥当だと思いますか。（1つ選択）

協力金に賛成・条件付き賛成の方を主な対象とします。

- ・ 300円程度まで
- ・ 500円程度まで
- ・ 1,000円程度まで
- ・ 2,000円程度まで
- ・ 金額よりも使途の透明性が重要
- ・ 協力金には反対
- ・ 判断できない

セクションF 協議会の進め方・今後の参加

★ Q16. 信頼できる協議・合意形成にするために必要だと思うことを選んでください。(複数選択可)

- 関係団体・事業者・漁業者の参加機会を広げる
- 議事録・資料・検討状況を公開する
- 反対意見・懸念点も議事録や整理資料に明記する
- 科学的調査や客観データを共有する
- 特定の対策を前提にせず、複数案を比較する
- 試験実施と効果検証を行う
- 費用負担と便益の公平性を明確にする
- 繁忙期を避け、早めに日程を告知する
- 議論を長引かせず、一定期間内に結論を出す
- その他（自由記入）

★ Q17. サンゴ礁保全の取り組みに参加・協力したいと思いますか。(1つ選択)

- 積極的に協力したい
- 条件によっては協力したい
- 情報提供や意見提出であれば協力したい
- あまり協力できない
- 協力したくない
- 判断できない

★ Q18. サンゴ礁保全と観光・漁業利用の両立を実現するために、最も重要だと思うことを自由にお書きください。(自由記述)

（自由記述）

出典：Googleフォーム「地域合意形成に向けた基礎調査」の編集画面から設問・選択肢の文面を取得（2026年9月20日）。取得時点の文面です。